

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 95 ※記入不要	提案機関名 湘南家畜保健衛生所
要望問題 剪定くずにより作られた堆肥の評価	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p>おが屑を用いて、糞尿処理・堆肥化している農家が多くあるが、おが屑はコストがかかる（ある農家では3000円/m³）ため、剪定くずによる代用が一部の農家（養豚）で考えられている。</p> <p>しかしながら、剪定くずの導入に当たっては、おが屑使用の場合と同等の堆肥ができなければ、販売先（耕種農家）を満足させられず、顧客を失う不安がある。</p> <p>このため、おが屑と同等の堆肥を剪定くずで作るには、どのようにすればよいのか（粒子の大きさ、問題ある素材、堆肥に要する時間等）を検討し、また、作成された堆肥の評価法も検討、作出する。</p>	
解決希望年限	<input checked="" type="radio"/> ①1年以内 <input type="radio"/> ②2～3年以内 <input type="radio"/> ③4～5年以内 <input type="radio"/> ④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="radio"/> ①研究所対応 <input type="radio"/> ②委託研究 <input type="radio"/> ③共同研究 <input type="radio"/> ④その他
対応を希望する研究機関名	<input type="radio"/> ①農業総合研究所（ <input type="radio"/> ②根府川試験場 <input type="radio"/> ③三浦試験場 <input type="radio"/> ④津久井試験場） <input checked="" type="radio"/> ⑤畜産研究所 <input type="radio"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="radio"/> ⑦内水面試験場 <input type="radio"/> ⑧相模湾試験場） <input type="radio"/> ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産研究所
部 署	企画経営部
対応区分	<input type="radio"/> ①実施 <input checked="" type="radio"/> ②実施中 <input type="radio"/> ③継続検討 <input checked="" type="radio"/> ④実施済 <input type="radio"/> ⑤調査指導対応 <input type="radio"/> ⑥現地対応 <input type="radio"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合） 牛ふんの低コスト消臭型堆肥化ハウス開発研究（H12～16）
対応の内容等	<p>剪定枝を用いた家畜ふんの堆肥化は、各都道府県の試験場でも報告書が出されているので情報提供で対応したい。当所でも平成13年度に、牛ふんの水分調整材として剪定枝を用いたを試験を実施したところ好成績を得ており、剪定枝を利用した堆肥化は実用段階に達していると思われます。</p> <p>提案にもあるように品質評価という点では、堆肥化の熟度判定として堆肥の酸素消費量による判定法の検討などについて現在実施中です。</p>
解決予定年限	<input type="radio"/> ①1年以内 <input type="radio"/> ②2～3年以内 <input type="radio"/> ③4～5年以内 <input type="radio"/> ④5～10年以内
備考	